感じあう心たいせつに

feelin' YAMAHA



ヤマハ音創集団

YAMAHA EFFECTORS & AMPLIFIERS 1989 NEW LINE UP

至高のサウンドクオリティが、縦横無尽のエフェクティヴ・アビリティが、アーティストのエモーションを心底からインスパイアする。ヤマハS.D.S.シリーズ。





SOUND DEVICE SERIES SDS

MBD-100 マルチバンドディストーション　NEW ¥9,000

3系統のディストーション回路を搭載。
大音量で弾いても全帯域にリッチな歪みを実現。

MBD-100は、低域、中域、高域それぞれに独立したディストーション回路を持つ"マルチバンド"ディストーションです。従来のディストーションではギターの低音域を入力させれば低域のディストーションサウンドは得られます。が、それにより中高音域のハーモニックトーンのディストーションはかき消され、締まりのないブーミーなサウンドしか出力できないことになります。これを避けるため、あらかじめ低域をカットしてからディストーションさせるという方法がありますが、確かに締まったサウンドは得られるものの、カットしてしまった低音域はもう出てきません。多くのエフェクターが大音量で弾いた時に軽く物足りない感じがするのはこのためです。その常識を打ち破るのがMBD-100です。ギターからの信号を低域、中域、高域の3つに分け、それぞれのディストーション回路に入力させ、出力した3つのディストーションサウンドをBALANCEツマミで自由にミックス、さらにTONEで全体のコントロール、というゼイタクな回路構成により、チューブアンプに匹敵するハイレベルでナチュラルなディストーションをクリエイトします。音の太さ、キメの細かさは圧倒的で、レンジの広いアンプで試せば違いは一発で分かります。また従来の中高域中心のディストーションサウンドも、BALANCEをHIの方にセットすることで出力可能。まさに"マルチ"なディストーションです。

●最大出力レベル：4V Peak to Peak(Input 250Hz、CONTROLS at max)●ノイズレベル：IHF-A、−110dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、DISTORTION、OUT LEVEL at max●周波数特性：20Hz−100kHz ±½dB(エフェクトOFF時)●TONE：+6dB〜−9dB(at 3kHz)●BALANCE：800Hzを基準レベル(0dB)とした場合の200Hz、3kHz成分のレベル ツマミ位置LO：200Hz=0dB、3kHz=−16dB ツマミ位置Center：200Hz=−8dB、3kHz=−8dB ツマミ位置HI：200Hz=−16dB、3kHz=0dB●DISTORTION：20dB MAX●ファンクション：OUT LEVEL、DISTORTION、BALANCE、TONE●端子：INPUT、OUTPUT

COD-100 C-MOSオーバードライブ ——— ¥8,500

"C-MOS"素子を採用。
チューブアンプの歪みをシュミレート。

COD-100は、真空管に近い歪み特性を持つシリーズ3段の"C-MOS"素子回路を採用したオーバードライブで、よりフルアップしたチューブアンプのサウンドに近いニュアンスのオーバードライブサウンドをクリエイトします。これまでのオーバードライブは物足りないがディストーションではハードすぎる、とお思いのギタリストには絶好のエフェクト。ピッキングの強弱や抑揚など原音のニュアンスも忠実に表現、ローボリュームからハイボリュームまでの一定した歪み感はC-MOSならではのオーバードライブサウンドです。コンプレッション、エキスパンド回路の採用でOD-100同様のナチュラルなロングサスティンも獲得。これまで両立できなかった、オーバードライブならではのナチュラルなピッキングニュアンスと、ディストーションに近いハードな歪みを可能にしたNew Faceです。

●最大出力レベル：4V、Peak to Peak at 250Hz●ノイズレベル：IHF-A、−96dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、EQs at center、OVER DRIVE at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●トーンコントロール(TONE)：Low EQ 120Hz、±8dBHigh EQ 5kHz、±8dB●ゲインコントロール(OVER DRIVE)：30dB at 1.3kHz●クリップ比：70%、入力0dB、@0dB=775mV、OVER DRIVE at center●ファンクション：Low EQ、High EQ、OVER DRIVE、OUT LEVEL●端子：INPUT、OUTPUT



DI-100 ディストーション ——— ¥8,500

2段ディストーション＋コンプレッション回路採用。

コンプレッション→ディストーション×2→エキスパンション、という回路構成を採用。独自のトーン回路は、MIN方向ではオーバードライブのニュアンスに近いマイルドなサウンドを、MAX方向ではディストーションならではのハードなサウンドを出すよう設計されています。

●最大出力レベル：6V、Peak to Peak at 250Hz●ノイズレベル：IHF-A、−120dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、CONTROLS at max、DISTORTION at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●トーンコントロール(TONE)：±6dB at 2kHz●ゲインコントロール(DISTORTION)：24dB at 1.3kHz●クリップ比：70%、入力0dB、@0dB=775mV、DISTORTION at center●ファンクション：TONE、DISTORTION、OUT LEVEL●端子：INPUT、OUTPUT



OD-100 オーバードライブ ——— ¥8,500

2段オーバードライブ＋コンプレッション回路採用。

DI-100同様の回路構成で、チューブアンプ特有のファットでマイルドな歪みと、ロングサスティーンをシュミレートしたエフェクト。よりキメ細かく、ナチュラルなロングサスティーンは、小〜中出力の背面開放型ギターアンプの中低域が豊かなオーバードライブサウンドを好むギタリストに絶好といえるでしょう。

●最大出力レベル：6V、Peak to Peak at 250Hz●ノイズレベル：IHF-A、−120dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、TONE at max、OVER DRIVE at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●トーンコントロール(TONE)：±6dB at 2kHz●ゲインコントロール(OVER DRIVE)：30dB at 1.3kHz●クリップ比：70%、入力0dB、@0dB=775mV、OVER DRIVE at center●ファンクション：TONE、OVER DRIVE、OUT LEVEL●端子：INPUT、OUTPUT



DM-100

ディストーション With モジュレーション ——— ¥13,000

マルチなギターサウンドを創出。

ディストーションと同時に、奥行きや広がりを出すダブリング、コーラス、フランジャー効果も1つのディバイスで実現したマルチエフェクター。2つのアウトプット端子の装備により、幅広い音創りが可能。もちろん、通常のコーラス・フランジャーとしても使用できます。

●最大入力レベル：−20dB、0dB=1V●最大出力レベル：−20dB、0dB=1V●ノイズレベル：IHF-A、−85dBV、0dB=1V、入力ショート、MODE at Ⅰ(Distortion)、TONE at center、DIS at center、OUTPUT at max●周波数特性：20Hz〜50kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●LFO周期：0.95Hz(Chorus)、0.66Hz(Flanger)●ディレイタイム：7mS〜25.6mS●ファンクション：MODE、DISTORTION、TONE、OUTPUT●端子：INPUT、OUTPUT×2

●SDSボディサイズ：70W×61H(GC-100、GE-100、GB-100は55H)×126Dmm
●全モデルに9V乾電池〔S-006P〕を装備。オプションに、ACアダプタ〔AC-05 ¥1500〕が用意されています。

DDS-100 デジタルディレイサンプラー ——— ¥17,500

デジタル方式ディレイ&サンプリング。
12bit AD／DAコンバーター採用。

DDS-100は、DD-100にサンプラーとしての機能を付加したエフェクター。MODE切換えツマミのS、M、Lポジションでは、S；22〜88ms/M；88〜350ms/L；350〜1400msの範囲を設定、範囲内での調整はDELAY TIMEツマミで行います。さらにFEED BACKツマミでリピート回数の設定、DELAY LEVELでDELAY音全体の音量を設定します。DDS-100は、従来のデジタルディレイにありがちだった、ハイエンドを強調した音作りをあえて避け、ナチュラルでウォームなディレイをクリエイトしますから、FEED BACKを上げてリピート回数を増したセッティングでも、ディレイ音はギラギラとした音に変わることなく、ウォームにリピートし減衰していきます。そしてR/P、Pポジションでサンプラーとして機能。R/Pポジションでサンプリング(録音)時間を350〜1400msでDELAYにより設定し録音。PポジションでフットSWを踏めばサンプリングされた内容が再生されます。再生時の音量、ピッチはDELAY LEVELとDELAY TIMEで調整可能。R/Pポジションで重ね録音も可能です。楽曲、マイク等からのサンプリングもでき、多重録音派まで応用可能なディバイスです。

●最大入力レベル：+4dB、@0dB=775mV●ノイズレベル：IHF-A、−90dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、FEED BACK at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●サンプリング周波数特性：100Hz〜7kHz ±½dB(エフェクトオン時)●全高調波歪率：0.5%(1kHz、−10dB)●ディレイタイム：Short 22ms〜88ms、Middle 88ms〜350ms、Long 350ms〜1400ms●サンプリングタイム：350ms〜1400ms●モード選択：ディレイモード(S、M、L)、サンプリングモード(R/P、P)●ファンクション：DELAY TIME、DELAY LEVEL、MODE(S、M、L、R/P、P)、FEED BACK●端子：INPUT、OUTPUT

CH-100 ステレオコーラス ——— ¥14,000

ステレオイン/ステレオアウト。
2048段BBDによる圧倒的な拡がりと厚み。

コーラスは、音に拡がりと厚みを与えるコーラス効果を得るエフェクターです。オーケストラ等は、複数の音源を同時に同じ音程で鳴らしても、個々の微妙なピッチや位相のズレがあり、そのために重厚なサウンドが得られます。これがコーラス効果であり、この効果を1つの音源から電気的に得るためのエフェクターがコーラスです。原音を数ms〜数10ms遅らせてピッチを周期的に上下させた信号(エフェクト音)と原音をミックスさせることによってこの効果を得るわけです。CH-100は一般のコーラスと同様に、音を遅らせるためにBBD素子を採用していますが、クロック数が一般の1024段の2倍、2048段のタイプを採用しているため、より深み、厚みのあるコーラスを得ることができます。WIDTHツマミはピッチ変化の上下幅を、SPEEDツマミはピッチ変化の周期を設定。ディレイタイムは5〜23ms。MANUALツマミを左右に回すとディレイタイムが変化します。右に回せば高域の、左に回すと低域の音色変化が得られます。なお、INPUT、OUTPUTはともにステレオ仕様。1in 2out、2in 2out、1in 1outのすべてに対応でき、ステレオアウトからは位相の異なるコーラスが得られ圧倒的な拡がり感のあるコーラスサウンドを作り出すことができます。特にMANUALを左方向にセットすると、従来のコーラスでは成し得なかった低域までのファットなコーラス効果が得られます。2048段の素子を採用したCH-100ならではのものといえるでしょう。

●最大入力レベル：+6dB、@0dB=775mV、at 250Hz、WIDTH at min、FEED BACK at min●最大出力レベル：+10dB、@0dB=775mV、at 250Hz、WIDTH at min●ノイズレベル：IHF-A、−87dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、WIDTH at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●ディレイタイム(MANUAL)：5msec〜23msec●モジュレーションスピード(SPEED)：0.1Hz〜3Hz●ファンクション：SPEED、WIDTH、MANUAL●端子：INPUT×2、OUTPUT×2(STEREO OUT)



DD-100 デジタルディレイ ——— ¥15,800

12bit デジタルのナチュラルディレイ

DD-100は、微妙なタイムニュアンスを完全にフォローする優れた基本性能を実現。DDS-100同様のウォームなサウンドです。特にロングリピートディレイでは、テープエコーを思わせる程にナチュラル。ディレイのスタンダードと言えるでしょう。

●最大入力レベル：+4dB、@0dB=775mV●ノイズレベル：IHF-A、−90dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、FEED BACK at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●全高調波歪率：0.5%(1KHz、−10dB)●ディレイタイム：Short/22ms〜88ms、Middle/88ms〜350ms、Long/350ms〜1400ms●ファンクション：DELAY TIME、DELAY LEVEL、MODE(S、M、L)、FEED BACK●端子：INPUT、OUTPUT



PH-100 フェイズシフター ——— ¥12,000

2種類のフェイズキャラクター＋ワイドな可変幅。

MODE Ⅰでは通常の4段シフターサウンド、MODE Ⅱではより一層効果を強調した8段シフターサウンドが得られます。FEED BACKツマミで、深さも自由にコントロール可能。ミュート奏法、アルペジオに最高の効果をクリエイトします。

●最大入力レベル：+4dB、@0dB=775mV、at 250Hz、DEPTH at min、FEED BACK at min●最大出力レベル：+6dB、@0dB=775mV、at 250Hz、DEPTH at min、FEED BACK at min●ノイズレベル：IHF-A、−95dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、Mode Ⅱ、DEPTH at min、FEED BACK at min●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●MODE：Ⅰ4段シフター Ⅱ8段シフター●SPEED：0.1sec〜10sec●FEED BACK：0〜100%●ファンクション：SPEED、DEPTH、FEED BACK、MODE、●端子：INPUT、OUTPUT



FL-100 フランジャー ——— ¥14,000

2048段BBDが生み出す強烈なウェイヴ。

スローな周期のコーラス的効果から、ヴィブラート効果、うねりのある強烈なフランジング効果まで、多彩に音色を変化させることができます。CH-100と同じく2048段のBBD素子を採用、多彩な音色変化に、深みを加えました。

●最大入力レベル：+6dB、@0dB=775mV、at 250Hz、DEPTH at min、FEED BACK at min●最大出力レベル：+8dB、@0dB=775mV、at 250Hz、DEPTH at min●ノイズレベル：IHF-A、−93dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、MANUAL at max●周波数特性：20Hz〜100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●ディレイタイム(MANUAL)：2msec〜18msec●モジュレーションスピード(SPEED)：0.1Hz〜10Hz●フィードバック(FEED BACK)：0〜100%●ファンクション：SPEED、DEPTH、FEED BACK、MANUAL●端子：INPUT、OUTPUT

●SDSボディサイズ：70W×61H(GC-100、GE-100、GB-100は55H)×126Dmm
●全モデルに9V乾電池〔S-006P〕を装備。オプションに、ACアダプタ〔AC-05 ¥1500〕が用意されています。



SOUND DEVICE SERIES SDS

GC-100 コンプレッショングラフィックイコライザー ¥14,000

コンプレッサーとグラフィックイコライザーをワンボディに。
音色補正から多彩な音創りまで充実したサウンドメイクが可能。

GC-100はコンプレッサーとグラフィックイコライザーをワンボディにビルトインしたエフェクターです。入力された信号はコンプレッサー→イコライザーの順に流れ出力されます。この組合わせは、特にレコーディング等、プロフェッショナルな現場で多用されるもので、コンプレッサーによる音量やエンベロープの補正と整合、イコライザーによるキメ細かい音質調整は、ハイグレードなギターサウンド作りに欠かせないアプローチです。
コンプレッサー段では原音の信号レベルがある値より高くなると自動的にレベルを押え込み、信号が小さくなっても信号を増幅。コントロールファンクションはSUSTAINとATTACKを装備。ピッキングのバラツキを整え、原音を歪ませずに一定の音量で伸ばすことができます。フォトカプラー採用の新開発回路によるコンプレッションは実にスムーズです。イコライザー段は、100、300、900、2k、3.5kHzの5バンド仕様、±12dBの範囲でコントロールできます。5つのツマミを全て5にセットすれば単体のコンプレッサーとして使用できます。LEVELはイコライジングされた音の全体のレベル(音量)をコントロール。エフェクトON/OFF時の音量バランスも自由に設定できます。GC-100の利点はコストパフォーマンス、エフェクトシステムの能率化に加え、1つのフットSWで、コンプレッサーとイコライザーが同時にON/OFFできること。また、DM-100とのコンビネーションで、2台で4台分の威力を発揮させることもできます。

●最大入力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 250Hz、ATTACK at min、EQ vol at flat、LEVEL at flat●最大出力レベル:−6dB、@0dB=775mV、at 250Hz、EQ vol at flat、LEVEL at flat●ノイズレベル:IHF-A、−100dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、ATTACK at min、SUSTAIN at max、LEVEL at flat●周波数特性:20Hz~100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●イコライジングボリューム:±12dB 5素子連続可変 100Hz、300Hz、900Hz、2kHz、3.5kHz●レベルコントロール(LEVEL):±12dB連続可変●アタックタイム:10msec(ATTACK min)~130msec(ATTACK max)●リリースタイム:40msec(ATTACK min)~0.6sec(ATTACK max)●最大圧縮比:25dB 入力+3dB @0dB=775mV●ファンクション:EQUALIZING VOLUME、LEVEL、SUSTAIN、ATTACK●端子:INPUT、OUTPUT

NR-100 ノイズリデューサー NEW ——— ¥11,000

ステレオイン/ステレオアウト。
2種類のノイズリダクション回路を2系統搭載。

NR-100は、シリーズ接続されたタイプの異なる2種類のノイズリダクション回路を2系統搭載したステレオイン/ステレオアウトのノイズリデューサーです。第1の回路は無音時に目立つノイズをカットするゲートサーキット・タイプ。THRESHOLDツマミでゲートのON/OFFのレベルポイントを、DECAYツマミでは信号が再びスレッシュルドレベルに達してからゲートの閉じるまでの時間を設定。前者はかかりの深さを、後者は自然なサスティン感を調整することになります。第2の回路はレベルエキスパンド・タイプ。大きいレベルの信号はそのまま、小さいレベル(−35dB以下)の信号のみを減衰させることでノイズをマスキングします。REDUCTIONツマミで小さいレベルの信号の減衰の度合いをコントロールし、さらに自然なサスティン感をクリエイトします。2基のノイズリデューサーによる効果は、アタック感とサスティン感を損なわずにハムやノイズをシャットアウトするという、これまでのノイズリダクションの常識を破るもの。特にリリース時のナチュラルなニュアンスは特筆に値します。
イン/アウトともステレオ仕様ですから、ステレオエフェクト使用時にこの1台だけで、アンプの直前で両chのノイズをシャットアウトでき、ステレオ空間におけるノイズ対策もパーフェクトが期せます。2種類の回路を同時に作動させることでNR-100は本領を発揮しますが、ツマミの設定によって一方のみを作動させることも可能です。

●ゲイン:0dB●最大入力レベル:+8dB(at 250Hz)●最大出力レベル:+8dB(at 250Hz)●ノイズレベル:IHF-A、−110dB、@0dB=775mV、入力ショート、REDUCTION at max.●ノイズゲート:スレッショルドレベル:−35dB~−∞dB ディケイタイム:0.1sec~5sec●周波数特性:20Hz~100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●ファンクション:THRESHOLD(Noise Gate)、DECAY(Noise Gate)、REDUCTION●端子:INPUT×2、OUTPUT×2



CO-100 コンプレッサー ——— ¥8,500

あくまでもクリアーなロングサスティーンをクリエイト。

CO-100はトーンコントロール回路により、従来のコンプレッサーにありがちだった音のこもりを追放。フォトカプラー採用の新開発コンプレッション回路とのコンビネーションでクリアーなロングサスティーンを得ることができます。

●最大入力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 250Hz、ATTACK at min●最大出力レベル:−6dB、@0dB=775mV、at 250Hz●ノイズレベル:IHF-A、−106dB、入力換算、@0dB=775mV、入力ショート、ATTACK at min、SUSTAIN at max●周波数特性:20Hz~100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●アタックタイム:10msec(ATTACK min)~130msec(ATTACK max)●リリースタイム:40msec(ATTACK min)~0.6sec(ATTACK max)●最大圧縮比:25dB 入力+3dB @0dB=775mV●ファンクション:SUSTAIN、OUT LEVEL、ATTACK、TONE●端子:INPUT、OUTPUT



GE-100 グラフィックイコライザー ¥11,000

高効率7バンドグラフィックEQ。

ギターの音域に確実な効果を発揮する7バンドの帯域をセレクト。それぞれの帯域を+15dB~−15dBの範囲でブースト/カットでき、より多彩な音創りを可能にしました。LEVELツマミでエフェクトON/OFF時の音量バランスを自由に設定できます。

●最大入力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 1kHz、LEVEL at flat●最大出力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 1kHz、LEVEL at flat●ノイズレベル:IHF-A、−100dB、@0dB=775mV、10KΩショート、EQ vol at flat、LEVEL at flat●周波数特性:20Hz~100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●イコライジングボリューム:±15dB 7素子連続可変 100Hz、200Hz、400Hz、800Hz、1.6kHz、3.2kHz、6.4kHz●レベルコントロール(LEVEL):±15dB連続可変●ファンクション:EQUALIZING VOLUME×7、LEVEL●端子:INPUT、OUTPUT



GB-100

ベースグラフィックイコライザー ——— ¥11,000

ベース専用に周波数帯域をセレクト。

GB-100はベース専用に設計され、最低音から最高音、さらに倍音成分までをフルにカバー。7バンドそれぞれの帯域を±15dbの範囲でブースト/カットでき、ベーシストもより積極的な音創りが可能になりました。GE-100と同様、LEVELツマミも装備。

●最大入力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 1kHz、LEVEL at flat●最大出力レベル:+8dB、@0dB=775mV、at 1kHz、LEVEL at flat●ノイズレベル:IHF-A、−100dB、@0dB=775mV、10kΩショート、EQ vol at flat、LEVEL at flat●周波数特性:20Hz~100kHz ±½dB(エフェクトオフ時)●イコライジングボリューム:±15dB 7素子連続可変 50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、800Hz、1.6kHz、3.2kHz●レベルコントロール(LEVEL):±15dB連続可変●ファンクション:EQUALIZING VOLUME×7、LEVEL●端子:INPUT、OUTPUT

●SDSボディサイズ:70W×61H(GC-100、GE-100、GB-100は55H)×126Dmm
●全モデルに9V乾電池(S-006P)を装備。オプションに、ACアダプタ(AC-05 ¥1500)が用意されています。

パーフェクトプレイをバックアップする信頼のスタッフ。



YT-2
オートギターチューナー ——— ¥4,800

ギター&ベース専用に設計。エレクトリックはもちろん、内蔵マイクによりアコースティックにも対応。入力した音名を自動的に判断し表示するオートモード、弦(音名)を指定できるマニュアルモードの切り替えができます。アナログメーターには、チューニングガイドLED、ランプ照明を装備し、暗い場所でもジャストチューニング。さらに、スルージャック、バッテリーチェック機能も採用。ビギナーから上級者まで手軽に使える、操作性とコストパフォーマンスに優れるスタンダードチューナーです。

▶コントロール:パワースイッチ、オート/マニュアルスイッチ▶端子:インプット、スルー▶マイクロホン:内蔵タイプ▶表示:メーター(ランプ照明付)、音(弦)名表示LED、チューニングガイドLED、オートモードLED▶精度:±1.0cent▶測定範囲:C_1(32.70Hz)~B_7(3951.07Hz)7オクターブ▶電源:9V乾電池[S−006P(N)]▶寸法:133W×68H×33.5D(mm)▶重量:180g(電池含む)

YT-1
デジタルクロマチックチューナー ¥8,600

入力した音名を自動的に判断して表示するオートクロマチックタイプ。エレクトリックギター&ベースをはじめ、内蔵マイクによりアコースティック楽器にも対応、あらゆる楽器のチューニングが可能。デジタルプロセスによって、つねに安定して正確なピッチを読みとります。表示器には、ビッグサイズのLEDメーターを採用し、暗いステージ上においても素早く確実にチューニングが行えます。さらに、A=438~445Hzの範囲において1Hzステップで標準ピッチをセットできるキャリブレーションモード、スルージャック、バッテリーチェック機能を装備。精度と機能を追求したプロフェッショナルグレードチューナーです。

▶コントロール:パワー&モードスイッチ、キャリブレーションスイッチ▶端子:インプット、スルー▶マイクロホン:内蔵タイプ▶表示:セント表示LED(LEDメーター)、音名表示LED、0cent位置マークLED▶精度:±0.5cent▶測定範囲:C_1(32.70Hz)~B_7(3951.07Hz)7オクターブ▶キャリブレーション範囲:A=438Hz~445Hz(1Hzステップ)▶電源:9V乾電池[S−006P(N)]▶寸法:116W×74.5H×30.5D(mm)▶重量:130g(電池含む)

VP-500
ヴォリュームペダル ——— ¥6,000
(エレクトリックギター&ベース対応/モノラルイン・モノラルアウト)

VP-50ST
ヴォリュームペダル ——— ¥6,000
(エフェクター&キーボード等対応/ステレオイン・ステレオアウト)

人間工学に基づいてデザインした安定感あふれるフォルム。スムーズなヴォリューム変化と高いサウンドクオリティを、優れた操作性で実現します。また、最小音量をプリセットできるミニマムヴォリュームを搭載。さらに、独自のチューナーアウト機能を装備し、ヴォリュームMin時にはチューナーアウト端子からのみ信号を出力。ノイズや信号もれを解消し、ライブパフォーマンスにおいても卓越した性能を発揮します。

VP−500▶コントロール:ヴォリューム(ペダルコントロール)、ミニマムヴォリューム▶端子:インプット、アウトプット、チューナーアウト▶寸法:200W×57H×86D(mm)
VP−50ST▶コントロール:ヴォリューム(ペダルコントロール)、ミニマムヴォリューム▶端子:インプット1、インプット2、アウトプット1、アウトプット2、チューナーアウト▶寸法:200W×57H×86D(mm)



VP-50ST



AC-320
パワーサプライ ——— ¥8,500

9ボルト×8出力仕様。SDSシリーズなどのエフェクターに、合計320mAまで安定して電源を供給するパワーユニット。容量オーバーを知らせるオーバーロードインジケーターを採用し、高い信頼性を獲得。出力端子をオリジナルレイアウトしたスリム&コンパクトなボディは、エフェクトボードへの装着性も抜群です。

▶端子:DCアウト×8▶表示:オーバーロード▶電源:AC100V▶寸法:125W×50H×81D(mm)▶重量:640g▶付属品:DCコード×4●別売DCコード EDC−1 ¥300

望み得る最高のサウンドと最高のファンクションを追究。圧巻のステレオ・ポテンシャル。

VR-6000/4000

ヤマハギターアンプリファイアVR-6000、VR-4000は、VRシリーズのステレオヴァージョン。もちろん心臓部である増幅回路は、トランジスターアンプの名器と言われ、今なおプロの愛器として活躍を続けているあの"F"のコンセプトを発展的に継承。最新のテクノロジーでリファインされ、さらにファットかつクリア、かつリッチなトーンを獲得しています。



■ステレオVRコンセプト　VR-6000、VR-4000は、プリアンプからパワーアンプ、そしてスピーカーに至るまでが"完全に2系統独立した"ステレオ"ギターアンプリファイアです。もちろんプリアンプ部のコントロールセクションは、Aチャンネル、Bチャンネルの2つを装備。つまり独立したアンプが2台ビルトインされているわけですが、2台分の機能を独立してコントロールできるだけでなく、自由自在に組み合わせて統合的にコントロールすることによってかつてないヴァーサタイルな音創りを可能にしています。両chの豊富なコントロールシステム、パラメトリックEQ、内蔵ステレオコーラス、デュアルエフェクトループ等の機能は、基本的サウンドメイキングをはじめとして、VR単体でステレオコーラス、外部ステレオエフェクターを使用してのステレオ空間でのサウンドメイキングへの発展性をサポートしています。

■2モード　モードとは、ステレオVRコンセプトから生まれた新システム。VR-6000、VR-4000ともに"A or B""A and B(A/B)"という2つのモードを装備しています。
"AorB"は、プリアンプのAチャンネルとBチャンネルをセレクトして使用できるモード。たとえばAチャンネルをクリーンサウンドに、Bチャンネルをディストーションサウンドにセッティング、フロントパネルのチャンネルセレクトスイッチ、またはフットスイッチ(VCF-3、オプション)で、瞬時にクリーンとディストーションを切換えることができます。プリアンプはモノラルに使用しますが、それより後のコーラス、エフェクトループ、パワーアンプ、スピーカーは2系統のステレオですから、ステレオ空間の演出も自由自在です。
"A and B(A/B)"は、プリアンプのAチャンネルとBチャンネルを同時に独立してパラレルに使用するモード。たとえばAPXなどステレオアウト仕様ギター2つの出力を、そのままA、Bチャンネルに入力。それぞれを自由にサウンドメイキングしてそのまま2つのパワー部から2つのスピーカーへとステレオアウト。さらに、内蔵ステレオコーラスやエフェクトループに接続した外部ステレオエフェクトにより、両ch入力前のステレオ感を損なうことなく、よりリッチなステレオ空間をクリエイトすることも可能です。またこのモードでは、モノラルの音源を同時にA、B両チャンネルに入力し、各チャンネルで異なったサウンドを作り、両方を自由にミックスしてパワーアンプに送ることも可能。クリーンとディストーションのミックスといった新たなサウンドメイクの可能性をつくりました。"A and B(A/B)"は、完全に独立した2台のギターアンプとして、2つの音源を別々に入力しセパレートしたまま、あるいはステレオエフェクトをかけて2つのスピーカーから出力させることもできます。なお、モードの切換えはリアパネルのスイッチで。使用中のチャンネルはフロントパネルのチャンネルインジケーターとフットスイッチのインジケーターにより表示されます。

■コントロールシステム　Aチャンネルは、クリーンサウンドチャンネル。ヴォリューム(プルファット:このノブを引く事によりいちだんと太く厚いサウンドが得られる)、トレブル(プルブライト:超トレブリーなサウンドを演出)、ミドル、ベース、そしてツインパラメトリックイコライザー(VR-4000はシングルタイプ)を装備。Bチャンネルは、ディストーションサウンドチャンネル。ゲイン(プルブースト:さらに強力な歪みを生み出す)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、そしてツインパラメトリックイコライザー(VR-4000はシングルタイプ)を装備。3トーン、プルファット、プルブライトは主にディストーション前のサウンドメイキング、パラメトリックEQは主にディストーション後のサウンドメイキングに威力を発揮します。さらに、マスターコントロールとしてリバーブ、チャンネルセレクトスイッチ、そしてコーラスON/OFFスイッチ、コーラススピードおよびコーラスデプスを装備しました。幅広い音づくりをフレキシブルにコントロールすることができます。

■パラメトリックイコライザー　Aチャンネル、Bチャンネルともに独立装備されたパラメトリックイコライザーが、プロライクなサウンドメイクに威力を発揮します。VR-6000には、ツインタイプを装備。100Hz～1kHzおよび800Hz～5kHzの周波数帯をカバーします。また、VR-4000には、シングルタイプを装備。100Hz～5kHzの周波数帯をカバーします。狙ったポイントを正確に、大胆にブースト/カットすることができ、思いのままのトーンアレンジを実現。とくに、VR-6000に装備されたツインパラメトリックイコライザーでは、2ポイントのピークやディップによる超個性的なトーンをクリエイトすることができます。

■ステレオコーラス　ステレオコーラスを、本体に内蔵。正相、逆相の2コーラス波を創造し、"A or B"、"A and B"どちらのモードでも2基のスピーカーを常時ステレオでドライブします。なお、"A and B"モード時の、ステレオ2系統入力の際も、本来のステレオ感を損なう事のないステレオ効果を演出します。音場を大きく包みこむ濃密さと、明るくクリアーなニュアンスを持ちあわせたヤマハ自信のユニット。ステレオVRコンセプトを、あざやかに主張します。

■リバーブ　コンテンポラリーなギターサウンドに欠かすことのできない、スプリングリバーブユニットを搭載しています、ふくよかな奥行き感を演出する、ヤマハオリジナルのディバイス。1ノブのシンプルなコントロールにより、リバーブニュアンスの設定もスピーディーに行えます。

■大口径スピーカー　もちろん、スピーカーはアンプ本体と同時開発のアルミキャップ付大口径タイプ。開発コンセプトは、クリアサウンドには繊細なニュアンスを失わず、ディストーションサウンドにはパワフルに対応すること。ローエンドからハイエンドまでをフルに鳴らし、メリハリのきいたサウンドをプロデュースします。VR-6000には30cmスピーカーを、VR-4000には25cmスピーカーを、それぞれ2基ずつ搭載。独立パワーアンプからの信号を、ダイナミックにドライブします。

■ヘヴィーデューティ・エンクロージャー　エンクロージャーは意外にも、音を決定する大きなファクターです。スマートなルックスが魅力のVRシリーズですが、キャビネットには厚さ19mmもの堅牢な合板を使用。加えて、スピーカーとのマッチングを考慮したサイズ設定により、大出力時にもローエンドまでのスピーカー振動を完全にキャッチ。ワイドレンジなギターサウンドの再生を確実にフォローします。もちろん、耐久性も抜群。便利な脱着式キャスターを標準装備しています。

■デュアルエフェクトループ　VR-6000、VR-4000は、エフェクトループをデュアルで装備。①モノラルセンド・ステレオリターン:プリアンプの後、内蔵ステレオコーラスの手前にエフェクターをインサートすることができます。
②ステレオセンド・ステレオリターン:内蔵ステレオコーラスの後、内蔵リバーブユニットの手前にエフェクターをインサートすることができます。つまり、①にSPX900などを、②にSPX1000などを接続して、デジタルシステムアップをはかることも簡単に可能。未来への発展性を、さらに強力にサポートしています。

■ステレオラインアウト&ステレオヘッドホンジャック　ラインアウト、そしてヘッドホンジャックともにステレオ仕様にて装備。ミキシングコンソールや外部アンプへの接続もステレオで可能。また、きめ細かな音づくりやトレーニングも、臨場感あふれるステレオサウンドで行えます。

■フットコントロール　多彩な機能のリモートコントロールを実現するフットスイッチVFC-3を、オプション(￥3,500)で用意。"A or B"モードでのチャンネルセレクト、そして内蔵ステレオコーラスのON/OFF、さらに内蔵リバーブのON/OFFを、足もとで自在にコントロールすることができます。



STEREO MODEL VR

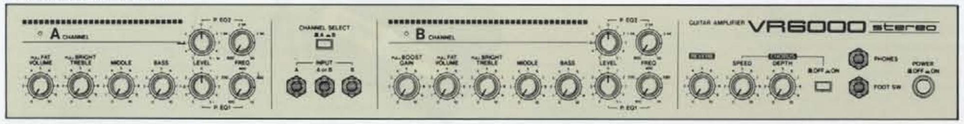
VR-6000 ―――― ¥120,000

●出力:50W+50W●スピーカー:30cm×2●エンクロージャー:オープンタイプ●入力端子:A、A/B、B、リターンL×2、リターンR×2●出力端子:ヘッドホン(ステレオ)、ラインアウトL、ラインアウトR、センド(モノラル)、センドL、センドR、フットスイッチ、スピーカーアウトL、スピーカーアウトR、ACアウト●コントロール:Aチャンネル:ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル×2、PEQフリクェンシー×2、Bチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル×2、PEQフリクェンシー×2、マスター:リバーブ、コーラススピード、コーラスデプス、チャンネルセレクトSW、コーラスSW、モードSW、パワーSW、グランドSW●寸法:725W×564H×277D(mm)●定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz

VR-4000 ―――― ¥95,000

●出力:25W+25W●スピーカー:25cm×2●エンクロージャー:オープンタイプ●入力端子:A、A/B、B、リターンL×2、リターンR×2、●出力端子:ヘッドホン(ステレオ)、ラインアウトL、ラインアウトR、センド(モノラル)、センドL、センドR、フットスイッチ、スピーカーアウトL、スピーカーアウトR、ACアウト●コントロール:Aチャンネル:ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル、PEQフリクェンシー、Bチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル、PEQフリクェンシー、マスター:リバーブ、コーラススピード、コーラスデプス、チャンネルセレクトSW、コーラスSW、モードSW、パワーSW、グランドSW●寸法:725W×564H×277D(mm)●定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz

VR-6000 CONTROL PANEL



VR-4000 CONTROL PANEL



その絶大なサウンドメイキング能力。2チャンネル・モノラルアンプの極致。

VR-5000/3000

ヤマハギターアンプリファイアVR－5000、VR－3000は、VRシリーズのモノラルヴァージョン。最新のテクノロジーによるファットかつクリア、かつリッチなトーンに加え、発展性を秘めたコントロールシステムが、オールラウンドなサウンドメイクの自由を実現。あの"F"のコンセプトをベースに、モノラルギターアンプの可能性を飛躍的に拡大しています。

■２チャンネルVRコンセプト　VR－5000、VR－3000は、2チャンネルギターアンプリファイア。独立した2系統のプリアンプ〈Aチャンネル&Bチャンネル〉を装備しています。しかも、各チャンネルのコントロールはリバーブまでを含め、すべて同等のデュアル構成。ソロパート&バッキングパート、また、フロントピックアップ&リアピックアップ、さらに2本のギターを使いわける場合などに威力を発揮。各チャンネルでまったく異なる音づくりをプリセットしておくことができるうえ、自由にセレクト可能。1台で2種類のサウンドキャラクターを、有効かつ自在に使いこなすことができます。

■コントロールシステム　Aチャンネル、Bチャンネルともに、ゲイン(プルブースト:さらに強力な歪みを生み出す)、ヴォリューム(プルファット:いちだんと太く厚いサウンドが得られる)、トレブル(プルブライト:超トレブリーなサウンドを演出)、ミドル、ベース、そしてツインパラメトリックイコライザー(VR－3000はシングルタイプ)、さらにリバーブを装備しています。そして、すべてのコントロールを各チャンネルに同等に配備。チャンネルセレクトは、フロントパネルのセレクトスイッチのほかに、フットスイッチ(オプション)でもOKです。たとえば、Aチャンネルをハードなディストーションサウンド、Bチャンネルをクリーン・サウンドにセットし、フットスイッチで瞬時に切り換える。あるいは、AチャンネルはフロントP.U.に対応したジャージーなサウンド、BチャンネルはリアP.U.に対応したメタルサウンドにセットし、P.U.セレクトとともに使い分ける。さらには、Aチャンネルをエレクトリック・ソリッド用に、Bチャンネルをエレクトリック・アコースティック用に……など、様々なプレイングスタイルの可能性を秘めています。なお、セレクトされたチャンネルはフロントパネルのチャンネルインジケーターとフットスイッチのインジケーターにより表示されます。

■パラメトリックイコライザー　Aチャンネル、Bチャンネルともに独立装備されたパラメトリックイコライザーが、プロライクなサウンドメイクに活躍します。VR－5000には、ツインタイプを装備。100Hz～1kHzおよび800Hz～5kHzの周波数帯をカバーします。また、VR－3000には、シングルタイプを装備。100Hz～5kHzの周波数帯をカバーします。狙ったポイントを正確に、大胆にブースト/カットすることができ、思いのままのトーンアレンジを実現。とくに、VR－5000に装備されたツインパラメトリックイコライザーでは、2ポイントのピークやディップによる超個性的なトーンをクリエイトすることができます。

■リバーブ　コンテンポラリーなギターサウンドに欠かすことのできない、スプリングリバーブユニットを搭載。ふくよかな奥行き感を演出する、ヤマハオリジナルのディバイスです。リバーブニュアンスの設定は、各チャンネルごとに独立して可能。ソロパートに、バッキングパートに、それぞれ最適なセッティングをプリセットしておくことができ、チャンネルセレクトと同時にリバーブセッティングも切り替わります。

■大口径スピーカー　VR－6000、VR－4000同様、スピーカーにはアンプ本体と同時開発のアルミキャップ付大口径タイプを採用。開発コンセプトは、クリアサウンドには、繊細なニュアンスを失わず、ディストーションサウンドにはパワフルに対応すること。ローエンドからハイエンドまでをフルに鳴らし、メリハリのきいたサウンドを演出。VR－5000、VR－3000とも30㎝スピーカーをマウントしています。

■ヘヴィデューティー・エンクロージャー　エンクロージャーは意外にも、音を決定する大きなファクターです。スマートなルックスが魅力のVRシリーズですが、エンクロージャーには厚さ19㎜もの堅牢な合板を使用。加えて、スピーカーとのマッチングを考慮したサイズ設定により、大出力時にもローエンドまでのスピーカー振動を完全にキャッチ。ワイドレンジなギターサウンドの再生を確実にフォローします。もちろん、耐久性も抜群です。

■エフェクトループ　ハイクオリティなエフェクトプロセッシングに活躍する、エフェクトループを装備しています。アクティブな効果を実現するプリアンプアウト&パワーアンプイン(プリリバーブ)のインサートタイプ。外部機器を使ってエフェクトを付加したサウンドに、内蔵リバーブの効果を加えることができます。

■ラインアウト&ヘッドホンジャック　ラインアウト、そしてヘッドホンジャックを装備しています。ミキシングコンソールに接続したり、外部アンプを併用してのビッグセットアップにも、2チャンネルVRコンセプトはそのまま。トーンセッティングの追求やミッドナイトトレーニングもOKです。

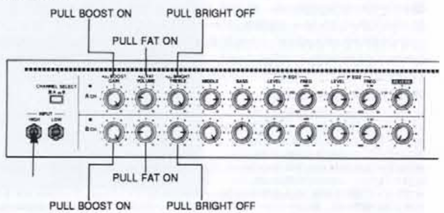
■フットコントロール　豊富な機能のリモートコントロールを実現するフットスイッチVFC－2を、オプション(￥2,500)として用意。チャンネルセレクト、そして内蔵リバーブのON/OFFを、足もとからコントロールすることができます。



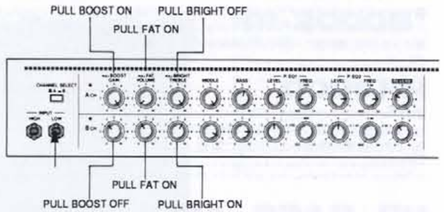


CONTROL SETTING EXAMPLES VR-5000

METAL SOUND



AMERICAN ROCK



2CHANNEL MODEL VR

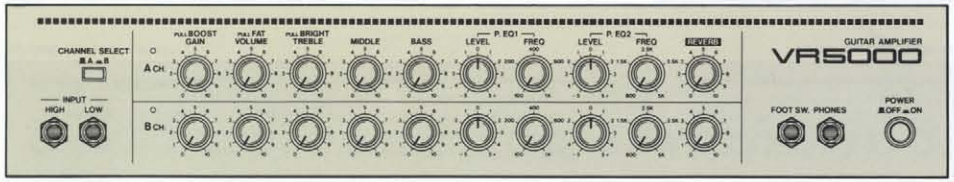
VR-5000——￥95,000

●出力:100W●スピーカー:30㎝×1●エンクロージャー:オープンタイプ●入力端子:High、Low、リターン●出力端子:ヘッドホン、ラインアウト、センド、フットスイッチ、スピーカーアウト●コントロール:Aチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル×2、PEQフリクェンシー×2、リバーブ、Bチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル×2、PEQフリクェンシー×2、リバーブ、マスター:パワーSW、グランドSW●寸法:527W×539H×277D(㎜)●定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz

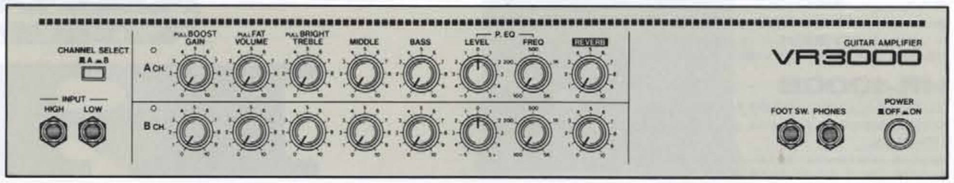
VR-3000——￥75,000

●出力:50W●スピーカー:30㎝×1●エンクロージャー:オープンタイプ●入力端子:High、Low、リターン●出力端子:ヘッドホン、ラインアウト、センド、フットスイッチ、スピーカーアウト●コントロール:Aチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル、PEQフリクェンシー、リバーブ、Bチャンネル:ゲイン(プルブースト)、ヴォリューム(プルファット)、トレブル(プルブライト)、ミドル、ベース、PEQレベル、PEQフリクェンシー、リバーブ、マスター:パワーSW、グランドSW●寸法527W×539H×277D(㎜)●定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz

VR-5000 CONTROL PANEL



VR-3000 CONTROL PANEL



トレーニングからライブまで、プロになっても手離せない。

ヤマハギター&ベースアンプリファイアHRシリーズは、ハンディサイズの中に最先端テクノロジーのすべてを投入。アンプ単体のパッシビリティを徹底追求したハイコストパフォーマーです。先鋭化するミュージックシーンを標的に多彩な機能を満載。トレーニングからライブまで対応する、ヴァーサタイルな表現力を実現しています。

HR GUITAR AMPLIFIERS

■3ヴォリュームシステム　HRシリーズ・ギターアンプリファイアは、クリーンサウンドからハードディストーションサウンドまで、幅広い音創りが可能な3ヴォリュームコントロールシステムを採用。一般的な2or1ヴォリュームコントロールのアンプより、ヘッドアンプが一段多い回路構成になっています。これは"ゲイン"で入力側ヘッドアンプにおける歪み、"ヴォリューム"でコントロール部での歪みを調整、最終的な音量は"マスターヴォリューム"によって決定するシステム。歪みの深さと音質調整だけでなく、歪み自体のニュアンスさえも自在にコントロールできる、HRならではのシステムです。加えて、4バンドトーンコントロールとのコンビネーションで、ディストーションサウンドのバリエーションにパーフェクト対応。微妙なピッキングニュアンスを確実に伝えるウォームでジャージーなオーバードライブサウンド、エッジの効いたダーティなロックンロールサウンド、徹底的に歪んだアグレッシブなメタルサウンド……等々、セッティング次第であらゆる"歪み"をクリエイトします。また、小音量時も小型アンプ特有のパワー不足を感じさせず、小音量から大音量まで一貫した迫力をキープするのも3ヴォリュームコントロールシステムの特徴。トレーニングからライブまで、シーンを問わないパフォーマンスが魅力です。

■4バンドトーンコントロール　低音域、中音域、高音域、そして超高音域をイコライジングする4バンドのトーンコントロールを装備。ギターサウンドの全音域をカバーし、強力なブースト/カットのできるアクティブイコライザーです。従来のトーンコントロールシステムに比べ、多彩かつ緻密なサウンドメイクが可能。ワイドな歪みはもちろん、クリアなトーンもフレキシブルに表現します。なお、それぞれのツマミは"5"の位置でノーマルなサウンドが得られ、"10"側に回すほどブースト、"0"側に回すほどカットされる設定です。

●"ベース"は低音域(100Hz基準)をコントロール。ブースト時にはアンプのサイズを忘れさせるほどの迫力を、カット時にはカッティング等に最適のタイトなサウンドが得られます。
●"ミドル"は中音域(500Hz基準)をコントロール。ブースト時にはギター特有のメリハリのある基音の力強さ、カット時にはトレンディなドンシャリサウンドが得られます。
●"トレブル"は高音域(4kHz基準)をコントロール。ブースト時には豊かな倍音成分が前面に出た艶と鋭さが、カット時にはマイルド&ウォームなサウンドが得られます。
●"プレゼンス"は超高音域(10kHz基準)をコントロールするHR独自のファンクション。ブースト時には従来の「ブライトスイッチ」に似た効果を出し、特にクリーントーンのアタッキーなカッティングに向いた音が、カット時には高域を強調しながらも締まりのあるディストーションサウンドが得られます。キラキラした音色は"トレブル"、シャリンとした音色は"プレゼンス"でイコライジング。3バンドまでのトーンコントロールでは不可能だった微妙なソフトさがクリエイトできます。

■スペシャルスペック・アナログディレイ&コンプレッサー搭載〔HR-2000〕■エクセレントエフェクト・内蔵コーラス〔HR-1500、2000〕■ステレオ仕様ヘッドホンジャック〔HR-1500、2000〕■ステレオ仕様ラインアウト端子〔HR-2000〕■特製アルミキャップ付高能率スピーカー■クローズドタイプ"ヘヴィーデューティ"エンクロージャー

HR-1000 ―――― ¥16,000

歪みのバリエーションをパーフェクトにコントロールすべく3ヴォリュームシステム、ディストーションSWを装備。ギターの全帯域をカバーする4バンドトーンコントロール。サウンドメイクに必要な機能をコンパクトに実現。

●出力=10Wrms●スピーカー=20cm×1●エンクロージャー=クローズドタイプ●端子=インプット、ヘッドホン●コントロール=ゲイン、ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドル、トレブル、プレゼンス、ディストーションSW●寸法=36W×36H×17Dcm

HR BASS AMPLIFIERS

■2ヴォリュームシステム　HRシリーズ・ベースアンプリファイアは、プリアンプへの入力レベルをコントロールする"ヴォリューム"と、総体的な音量を決める"マスターヴォリューム"を装備。従来の小出力アンプでは得難かった圧巻のベースサウンドをクリエイトする2ヴォリュームコントロールシステムを採用しました。パンチの効いたサウンドからヘヴィーなディストーションサウンドまで幅広くカバー。ベーシストの感性にダイレクトに呼応するサウンドアビリティを獲得しています。

■3バンドトーンコントロール　全音域において緻密な音創りをプロデュースする、3バンドトーンコントロールを装備しました。強力なブースト/カットを行なうアクティブイコライザーが、ベーシストのイマジネーションを刺激。多彩かつダイナミックなサウンドワールドを創出するハイグレード・システムです。

●"ベース"は低音域(50Hz基準)をコントロール。ブースト時にはベースならではのディープなサウンドが強調され、カット時にはライトなギター的サウンド得られます。
●"ミドル"は中音域(800Hz基準。ただしHR-3000Bはパラメトリック EQ)をコントロール。ブースト時には豊かでメリハリのあるサウンドになりベースが前に出る感じに、カット時には芯の柔かなサウンドが得られます。
●"トリブル"は高音域(10kHz基準)をコントロール。ブースト時にはクリアでアタッキーなサウンド、カット時にはソフトでマイルドなサウンドが得られます。
なお、HR-3000Bは"ミドル"にパラメトリックイコライザーを搭載。ベースサウンドの印象度にとって大きなポイントとなるミドルレンジを、"フリクェンシー"そして"イコライジングレベル"によってきめ細かくコントロールできます。音圧感、迫力感を増大させることも、微妙なトーンニュアンスの表現もOK。ベースの表現領域を拡大し、自由かつフレキシブルなサウンドメイクを実現しました。

■スペシャルスペック・コンプレッサー搭載〔HR-2000B、3000B〕■ハイグレードファンクション・エフェクトループ装備〔HR-3000B〕■高能率スピーカー■バスレフタイプ"ヘヴィデューティ"エンクロージャー〔HR-2000B、3000B〕■ヘッドホンジャック■ラインアウト端子〔HR-2000B、3000B〕

HR-1000B ―――― ¥25,000

エレクトリックベースのトーンキャラクターを標的とした2ヴォリューム3トーンコントロールシステム。多彩なサウンドバリエーションというHRの基本コンセプトを完備したビッグパワーモデル。

●出力=15Wrms●スピーカー=25cm×1●エンクロージャー=クローズドタイプ●端子=インプット、ヘッドホン●コントロール=ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドル、トレブル●寸法=38W×44H×22Dcm



NEW SMALL AMPLIFIERS

HR



HR-1500

¥19,500

ギターフリークのサウンドクリエイトに照準を合わせたファンクションの数々、3ヴォリューム・4バンドトーンコントロールに加えコーラス、ステレオヘッドホンジャックを搭載、ヘヴィー&タイトなハイクオリティアンプ。

●出力=15Wrms●スピーカー=20cm×1●エンクロージャー=クローズドタイプ
●端子=インプット、ヘッドホン〔ステレオ〕●コントロール=ゲイン、ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドル、トレブル、プレゼンス、コーラス〔オン/オフ〕、パワーSW●寸法=36.6W×39.4H×17Dcm



HR-2000

¥32,000

3ヴォリューム・4バンドコントロール、コーラスに加えアナログディレイを搭載。さらにコンプレッサーを導入し、あらゆるサウンドメイクに対応するハイコストパフォーマー。

●出力=20Wrms●スピーカー=25cm×1●エンクロージャー=クローズドタイプ●端子=インプット、ラインアウト〔ステレオ〕、ヘッドホン〔ステレオ〕フットSW●コントロール=ゲイン、ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドル、トレブル、プレゼンス、ディレイタイム、ディレイレベル〔オン/オフSW内蔵〕、コーラス〔オン/オフ〕、コンプレッサー、〔オン/オフ〕、パワーSW●寸法=42.8W×42.2H×23.3Dcm



HR-2000B

¥30,000

2ヴォリューム・3バンドトーンコントロールに加え、コンプレッサーを搭載、トーンカラープログラミングに多彩な活躍をみせるファンクション。ロックベーシストのテクニックを強靱なパワーでアクティブに表現。

●出力=30Wrms●スピーカー=25cm×1●エンクロージャー=バスレフタイプ●端子=インプット、ヘッドホン、ラインアウト●コントロール=ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドル、トレブル、コンプレッサー〔オン/オフSW内蔵〕、パワーSW●寸法=38.5W×48.8H×22Dcm

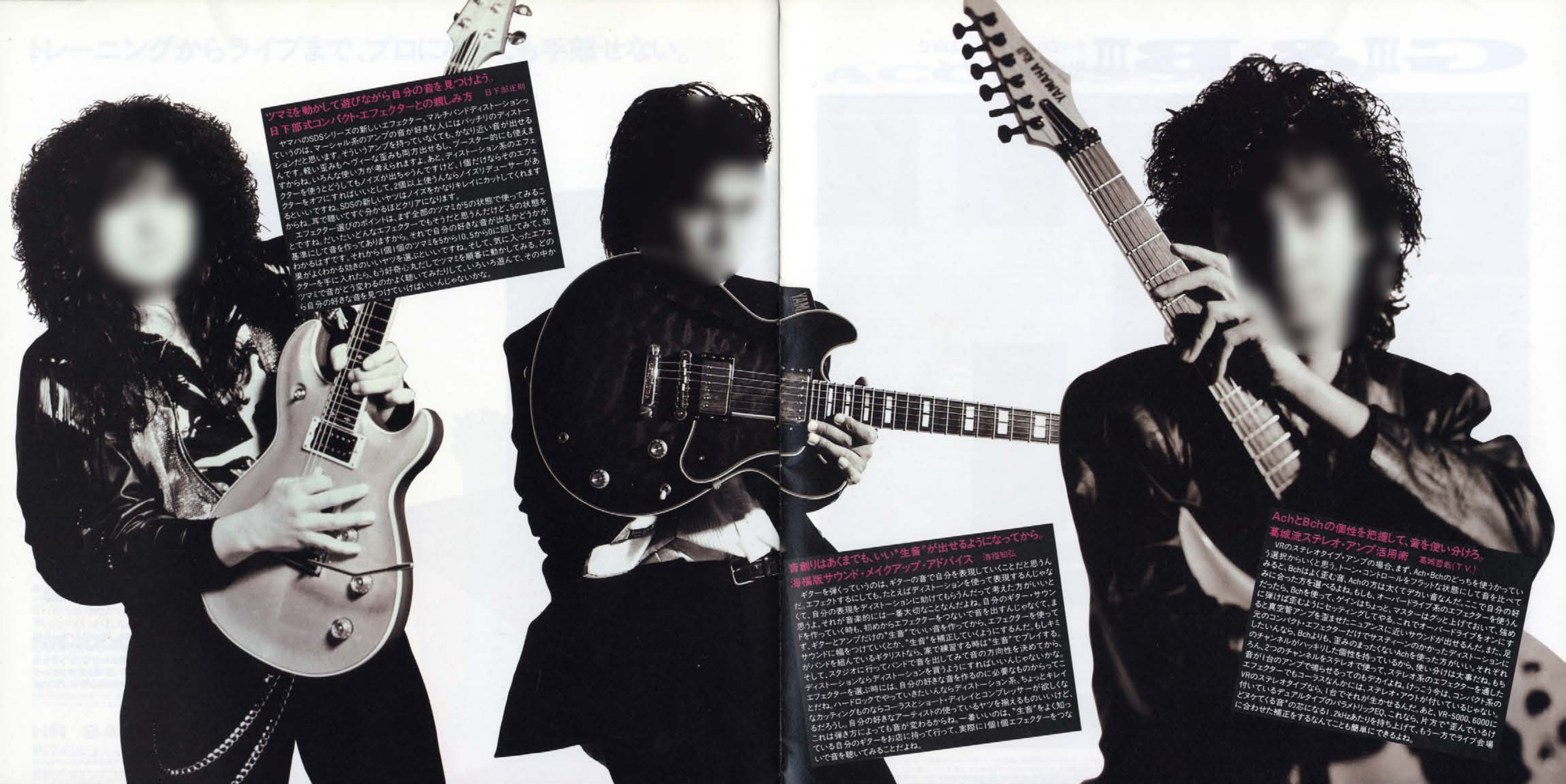


HR-3000B

¥43,000

2ヴォリューム・3バンドトーンコントロールのミドルには、パラメトリックイコライザーを採用。そしてコンプレッサー(フットコントロール可)、エフェクトループと最新テクノロジーのすべてを満載。

●出力=50Wrms●スピーカー=30cm×1●エンクロージャー=バスレフタイプ●端子=インプット、ラインアウト、ヘッドホン、フットSW●コントロール=ヴォリューム、マスターヴォリューム、ベース、ミドルフリクェンシー、ミドルレベル、トレブル、コンプレッサー〔オン/オフSW内蔵〕、パワーSW●寸法=42.8W×51.3H×23.3Dcm



ツマミを動かして遊びながら自分の音を見つけよう。
日下部式コンパクト・エフェクターとの親しみ方　日下部正則

ヤマハのSDSシリーズの新しいエフェクター、マルチバンドディストーションっていうのは、マーシャル系のアンプの音が好きな人にはバッチリのディストーションだと思います。そういうアンプを持っていなくても、かなり近い音が出せるんです。軽い歪みもヘヴィーな歪みも両方出せるし、ブースター的にも使えますからね。いろんな使い方が考えられますよ。あと、ディストーション系のエフェクターを使うとどうしてもノイズが出ちゃうんですけど、1個だけならそのエフェクターをオフにすればいいとして、2個以上使うんならノイズリデューサーがあるといいですね。SDSの新しいヤツはノイズをかなりキレイにカットしてくれますからね。耳で聴いてすぐ分かるほどクリアになります。

エフェクター選びのポイントは、まず全部のツマミが5の状態で使ってみることですね。だいたいどんなエフェクターでもそうだと思うんだけど、5の状態を基準にして音を作ってありますから。それで自分の好きな音が出るかどうかがわかるはずです。それから1個1個のツマミを5から10、5から0に回してみて、効果がよくわかる効きのいいヤツを選ぶといいですね。そして、気に入ったエフェクターを手に入れたら、もう好奇心丸だしでツマミを順番に動かしてみる。どのツマミで音がどう変わるのかよく聴いてみたりして、いろいろ遊んで、その中から自分の好きな音を見つけていけばいいんじゃないかな。

音創りはあくまでも、いい"生音"が出せるようになってから。
海福版サウンド・メイクアップ・アドバイス　海福知弘

ギターを弾くっていうのは、ギターの音で自分を表現していくことだと思うんだ。エフェクトするにしても、たとえばディストーションを使って表現するんじゃなくて、自分の表現をディストーションに助けてもらうんだって考えた方がいいと思うよ。それが音楽的には一番大切なことなんだよね。自分のギター・サウンドを作っていく時も、初めからエフェクターをつないで音を出すんじゃなくて、まず、ギターとアンプだけの"生音"でいい音を作ってから、エフェクターを使ってサウンドに幅をつけていくとか、"生音"を補正していくようにするんだ。もしキミがバンドを組んでいるギタリストなら、家で練習する時は"生音"でプレイする。そして、スタジオに行ってバンドで音を出してみて音の方向性を決めてから、ディストーションならディストーションを買うようにすればいいんじゃないかな。エフェクターを選ぶ時には、自分の好きな音を作るのに必要なものからってことだね。ハードロックでやっていきたいんならディストーション系、ちょっとキレイなカッティングものならコーラスとショート・ディレイとコンプレッサーが欲しくなるだろうし。自分の好きなアーティストの使っているヤツを揃えるものいいけど、これは弾き方によっても音が変わるからね。一番いいのは、"生音"をよく知っている自分のギターをお店に持って行って、実際に1個1個エフェクターをつないで音を聴いてみることだよね。

AchとBchの個性を把握して、音を使い分けろ。
葛城流ステレオ・アンプ活用術　葛城哲哉(T.V.)

VRのステレオタイプ・アンプの場合、まず、Ach・Bchのどっちを使うかっていう選択からいくと思う。トーン・コントロールをフラットな状態にして音を比べてみると、Bchはよく歪む音、Achの方は太くてデカい音なんだ。ここで自分の好みに合った方を選べるよね。もしも、オーバードライブ系のエフェクターを使うんだったら、Bchを使って、ゲインはちょっと、マスターはグッと上げておいて、強めに弾けば歪むようにセッティングしてやる。これでオーバードライブをオンにすると真空管アンプを歪ませたニュアンスに近いサウンドが出せるんだ。また、足元のコンパクト・エフェクターだけでサスティーンのかかったディストーションにしたいんなら、Bchよりも、歪みのまったくないAchを使った方がいい。それぞれのチャンネルがハッキリした個性を持っているから、使い分けは大事だね。もちろん、2つのチャンネルをステレオで使って、ステレオ系のエフェクターを通した音が1台のアンプで鳴らせるってのもデカイよね。けっこう今は、コンパクト系のエフェクターでもコーラスなんかには、ステレオ・アウトが付いているじゃない。VRのステレオタイプなら、1台でそれが生かせるんだ。あと、VR-5000、6000に付いているデュアルタイプのパラメトリックEQ、これなら、片方で"歪んでいるけどヌケてくる音"の芯になる1.2kHzあたりを持ち上げて、もう一方でライブ会場に合わせた補正をするなんてことも簡単にできるよね。

SOUND MAKE-UP INFORMATION

SDS SERIES

SDSシリーズには、歪みモノ(ディストーション&オーバードライブ)が5機種も含まれている。特にビギナーはチョイスに悩むところだと思うので簡単にアドバイスしておこう。DM-100を除く4機種のキャラクターは大きく図のように分けて考えると良いだろう。下の2つ、DI-100とOD-100は"ソフト"とは言っても従来のデバイスと同等かそれ以上の歪みをクリエイト。しかも歪みのキメはより細かくサスティーンもより長い。上の2つMBD-100とCOD-100は、従来のデバイスよりグンと"ハード"な歪み。しかもキメ細かくサスティーンも長い。特にMBD-100はこれまでに無いローからハイまでの歪みをクリエイトするディストーションのニュージェネレイションだ。どの機種も強力に個性的なので個性に圧倒されないように、自分の欲しいのはどんな音なのか明確に頭に浮かべ、図を頭に入れた上で実際に試してみてほしい。なおDM-100は5機種の中で最もストレートな歪みだが、ディストーションと同時に、あるいは単独に、ダブリング/コーラス/フランジャーの効果もかけられるという、2in1のデバイス。エフェクトのかかりはベストポジションがプリセットされているから手軽にプロフェッショナルなマルチエフェクトを味わえる。コンプレッショングラフィックイコライザーGC-100と組合わせれば、たった2台で4～5台分ものエフェクターとして機能するのもオイシイところだ。

では、SDSの中から数機種をセレクトし、音創りの実際を話しておこう。最も典型的な接続例は図2のような感じだ。MBD-100は他機種の歪モノでもOK。エフェクターはある程度接続順を守らないと効果を充分に発揮してくれない。基本的には図2のように"コンプ→ディストーション→コーラスやディレイ"という線を守れば問題はない。DDよりCHが後にあるのは、CHのステレオアウトを活かすため。モノラルで使用するならこの逆でもOKだ。次は、この他のエフェクターについて説明しよう。

● PH-100、FL-100→ⒷorⒸに接続(Insert)
これらはコーラスやディレイと同様、ディストーションの後につなぐのが普通。ただし、PH、FL、CH、シングルショートディレイにセットしたDDをⒶの位置につないでもクセの強い面白いディストーションサウンドが出せる。

● GE-100→Ⓐ～Ⓒに接続(Insert)
イコライザーは使い途によって接続位置が変わる。Ⓐの位置なら、ディストーションON時には歪む前の音色創り、つまりギター自体の音色創りの役目になる。ⒷやⒸにつないだ場合は歪んだ後の音色創り、つまりアンプの音色補正の役目になっている。もちろん両方につないでより自由に音創りをはかってもヨイ。なおGC-100はCOの代わりに接続すればOKだ。

● NR-100→Ⓓに接続(Insert)
ノイズリダクションはエフェクター群の一番最後につなぐのがベスト。NR-100ならステレオイン/アウトだからCHの後でOKだ。

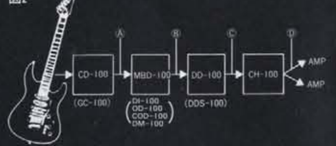
● Volume Pedal→Ⓐ～Ⓓ
ボリュームペダルの位置も用途によって違ってくる。Ⓐにおけば、ペダルでディストーションのかかりの深さをコントロールできる。Ⓑにおけばディストーションがフルにかかったまま音量のみをコントロールし、ペダルを絞ってもDDのリピートディレイはナチュラルに残る。Ⓒ、ⒹでもⒷと同様だが、ペダルを絞ればディレイ音も同時に消えてしまう。一般的には、Ⓑに接続するのが普通だ。

SDSの接続の要領は以上のような感じだが、音ヤセしないナチュラルなサウンドが身上なので、アブノーマルな接続でも色々な効果が期待できる。色々試して自分だけのサウンドを創出してほしい。

図1



図2



VR STEREO MODEL

VR-6000、4000は、フロントパネル側のコントロール類も多く、それだけでも充分VRステレオサウンドをクリエイトできるが、リアパネルに配備されたデュアルエフェクトループを使いこなせば、VRは更に発展していく。ちょっとややこしいが図3を見てもらおう。これがVRのエフェクトループの仕掛けだ。内蔵コーラスの前にⒶモノラルセンド/ステレオリターンが、後にはⒷステレオセンド/ステレオリターンが用意されている。SDSシリーズの中からステレオ仕様のエフェクトを選んで接続するとすれば、CH-100とNR-100を、図4のようにⒶにCH、ⒷにNRをつなぐか、ⒷにCHとNRをつなげば良い。NRはなるべく後にあった方が効果的だからⒷがベスト。VRのプリアンプでオーバードライブさせた時に気になるギターのノイズや、内蔵コーラスやCHのわずかなシュワッというコーラスノイズも完全にシャットアウト出来る。リバーブの前なので、リリースは更にナチュラルに響いてくれる。

デジタルマルチエフェクトなら、ⒶにREX-50やSPX900ⒷにSPX1000が接続可能。この辺のデバイスを積極的に導入すればVRは正に本領発揮。一台のアンプでここまでパーフェクトに対応しているのは他に類を見ないはずだ。

なお、ステレオ仕様のエフェクトなんか持ってない、という人も問題はない。図3をじっくり見てもらえばわかると思うが、モノラルのエフェクターでも、Ⓐに接続して、LかRの一方のリターンにだけ戻せばOK。

完全に理解するには時間がかかるかも知れないが、このデュアルエフェクトループを把握すれば、VR-6000、4000の凄さが訳るはずだ。

図3

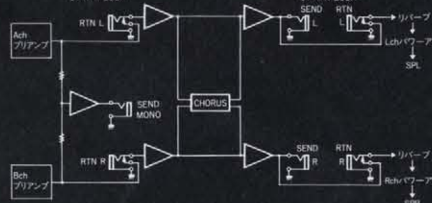
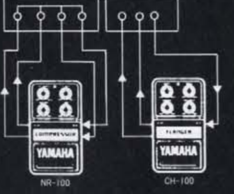


図4



GIII&BIII すべての設計をライブ志向で貫いたGIII&BIIIシリーズ。

BUILT-IN GUITAR AMPLIFIERS/BUILT-IN BASS AMPLIFIERS



G50-112III ¥86,000

メタルキャップ付30cmスピーカーを50Wrmsパワーでドライブ。伸びのある中高域を再現します。3バンドEQ、プリアンプアウト・パワーアンプインなど充実のプロ仕様。音色プログラム自在のランクアップ機種G50-112III。
●出力＝50Wrms●スピーカー＝30cm×1●エンクロージャー＝open type●入力端子＝INPUT×1、POWER AMP IN●出力端子＝HEADPHONE、FOOT SW(A/B,P-EQ)、PRE AMP OUT、SPEAKER OUT×2、DIRECT OUT●コントロール ch-A VOLUME,PULL MID-BOOST,ch-B GAIN,MASTER VOLUME,PULL MID-BOOST,A&B TREBLE,MIDDLE,BASS,P-EQ (LEVEL,Q,FREQUENCY),PRESENCE,REVERB,A/B SELECT SW,POWER SW●寸法・重量＝54.3W×45.0H×25.3Dcm・18.8kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・55W



G100-112III ¥106,000

余裕のパワー100Wrmsが、魅力のG100-112III。ヘビーデューティタイプの30cmスピーカーが、フルパワー時にもシャープなレスポンスで極限サウンドを十二分に引き出します。センドアウト・リターンのEFFループ端子装備。セント・リターンともレベル調節可能です。突き抜けるサウンドが魅力のハイクラスギア。
●出力＝100Wrms●スピーカー＝30cm×1●エンクロージャー＝open type●入力端子＝INPUT×1、RETURN IN●出力端子＝HEADPHONE,FOOT SW(A/B,P-EQ),SEND OUT,SPEAKER OUT×2、DIRECT OUT●コントロール＝ch-A VOLUME,TREBLE,MIDDLE,PULL MID-BOOST,BASS,ch-B GAIN,MASTER VOLUME,TREBLE,MIDDLE,PULL MID-BOOST,BASS,A&B P-EQ(REVEL,Q,FREQUENCY)、PRESENCE,REVERB,SEND LEVEL,RETURN LEVEL,A/B SELECT SW,POWER SW●寸法・重量＝54.3W×47.0H×29.3Dcm22.5kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・90W



G100-212III ¥125,000

G100-212IIIは、100Wrmsの強力パワーアンプで30cmスピーカー2本をドライブ。深みのあるサウンドとバランスのよい音像が得られるGIIIシリーズのリーダーズモデルです。多彩なサウンドメイクファンクション。そしてEFFループ端子までも配備したマキシマムな入出力系。ステージを圧倒的な迫力で制するハイパフォーマーです。
●出力＝100Wrms●スピーカー＝30cm×2●エンクロージャー＝open type●入力端子＝INPUT×1、RETURN IN●出力端子＝HEADPHONE,FOOT SW(A/B,P-EQ),SEND OUT,SPEAKER OUT×2、DIRECT OUT●コントロール＝ch-A VOLUME,TREBLE,PULL MID-BOOST,BASS,ch-B GAIN,MASTER VOLUME,TREBLE,MIDDLE,PULL,MID-BOOST,BASS,A&B P-EQ (LEVEL,Q,FREQUENCY),PRESENCE,REVERB,SEND LEVEL,RETURN LEVEL,A/B SELECT SW,POWER SW●寸法・重量＝69.9W×56.0H×29.3Dcm・29kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・90W



B100-115III ¥130,000

38cmベース専用スピーカーをバスレフエンクロージャーにマウントし、100Wrmsの大パワーをフルドライブするB100-115III。コンパクトサイズながら、重厚なヘビーメタルサウンドからブライトなチョッパーサウンドまで思いのまま。トレブル・ミドル・ベースの3バンドコントロールには、アクティブ型新回路採用。2回路装備のパラメトリックEQはフットSWで回路セレクト。さらにフリクェンシーディバイダーを内蔵。HPFアウト・LPFアウトにより2ウェイ・マルチアンプシステムに対応。プリアンプアウト・パワーアンプインのEFFループ用端子までも搭載した高品位ベースアンプです。
●出力＝100Wrms●スピーカー＝38cm×1●エンクロージャー＝bass reflex type●入力端子＝INPUT×1、POWER AMP IN●出力端子＝HEADPHONE,FOOT SW (P-EQ1,2)、PRE AMP OUT,SPEAKER OUT×2、XLR BAL OUT,LPF OUT,HPF OUT●コントロール＝VOLUME,TREBLE,MIDDLE,BASS,P-EQ1&2 (LEVEL,Q,FREQUENCY,PRESET LEVEL),FILTER (LPF LEVEL,HPF LEVEL,FREQUENCY),BAL OUT LEVEL,POWER SW●寸法・重量＝56.8W×78.5H×35.7Dcm・42.8kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・90W

SPEAKER BOXES



S412III FOR GUITAR ¥90,000

入力240W(プログラム)。ヘビーデューティ仕様のスタックスピーカーボックスS412III。アルミキャップ付30cmスピーカーを、密閉型エンクロージャーに4本マウント。ドライブ感あふれる鮮明なサウンドとパワフルな音圧感を実現しています。●許容入力＝240W (program)●スピーカー＝30cm×4●エンクロージャー＝closed type●入力端子＝PHONE JACK●寸法・重量＝71W×71H×38.7Dcm・45kg



S115III FOR BASS ¥70,000

アルミキャップ付38cmスピーカーをバスレフエンクロージャーにマウントしたS115III。ベースの基本ともいえるヘビーサウンドを、いちだんとタイトに引き締めます。きめ細かな高品質のサウンドを再現。
●許容入力＝120W (program)●スピーカー＝38cm●エンクロージャー＝bass reflex type●入力端子＝PHONE JACK●寸法・重量＝56.5W×59.5H×38.7Dcm・33kg



S215III FOR BASS ¥100,000

S115IIIと同規格のベース専用38cmスピーカーを、バスレフエンクロージャーに2本マウント。余裕のサウンドレンジを誇る入力240W(プログラム)ボックスです。破格の解像力と卓越した低域レスポンスがメリット。アクティブなライブを実現します。
●許容入力＝240W(program)●スピーカー＝38cm×2●エンクロージャー＝bass reflex type●入力端子＝PHONE JACK●寸法・重量＝56.5W×110H×44.1Dcm・61kg

PREAMPLIFIERS



PG-1 GUITAR PREAMPLIFIER ¥90,000

コンボスタイルのギター用プリアンプPG-1。ボリュームのch-Aと、マスターV付きch-BをSWセレクトする2ch型。両chに独立して、3バンドトーンコントロール、プルファットSW、プルブライトSWを搭載。マスターコントロールにはパラメトリックEQとリバーブを配備しました。また、エフェクターパッチング用センド・リターン端子、XLRコネクターによるバランス型アウトなど、入出力系も充実。
●入力端子＝INPUT,RETURN IN●出力端子＝OUTPUT×2、SEND OUT,BAL OUT,PHONES●コントロール＝ch-A VOLUME,PULL FAT,TREBLE,PULL BRIGHT,MIDDLE,BASS,A&B P-EQ(LEVEL,Q,FREQUENCY),EQ LEVEL,EQ A-A/B-B SW LPF/P-EQ/HPF SW,REVERB,A/B SELECT SW,PHONES VOLUME,POWER SW,rear panel RETURN LEVEL,SEND LEVEL,BAL OUT LEVEL,BAL OUT GROUND LIFT GROUND,POLARITY,FOOT SW(A/B,EQ,REVERB)●寸法・重量＝48.0W×5.4H×32.5Dcm・5.7kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・16W



PB-1 BASS PREAMPLIFIER ¥60,000

先進のコンボスタイルのベース用プリアンプPB-1。3バンドトーンコントロールに加えて、パラメトリックEQも装備し、幅広いトーンバリエーションを確保。チャンネルディバイダーとして、ローパスフィルター、ハイパスフィルターも搭載しました。PAやレコーディングを想定したバランス型XLRアウト、エフェクターパッチングのためのセンド端子・リターン端子など、入出力系の充実ぶりも魅力です。
●入力端子＝INPUT,RETURN IN●出力端子＝OUTPUT×2、SEND OUT,BAL OUT,LPF OUT,HPF OUT,PHONES●コントロール＝VOLUME,TREBLE,MIDDLE,BASS,P-EQ(LEVEL,Q,FREQUENCY),LPF(LEVEL,FREQUENCY),HPF(LEVEL,FREQUENCY),PHONES LEVEL,POWER SW,rear panel RETURN LEVEL,SEND LEVEL,BAL OUT LEVEL,BAL OUT GROUND LIFT,GROUND POLARITY,FOOT SW (A/B,EQ,REVERB)●寸法・重量＝48.0W×5.4H×25.5Dcm・4.8kg●定格電源電圧・消費電力＝100V・50/60Hz・13W

STACKABLE AMPLIFIER HEADS



G100III GUITAR AMPLIFIER HEAD ¥90,000

GIIIの思想を継承する100Wrmsギターアンプヘッド。プロ仕様2chに、3バンドトーンコントロール、パラメトリックEQ、ミッドブーストSWなど多彩なスペックを満載。しかもA/Bchセレクト、パラメトリックEQのON/OFFに加え、EFFループのON/OFFまでもフットSWで切り換え自由。充実の入出力にはXLRバランスアウトを配置。
●出力＝100Wrms●入力端子＝INPUT×1、RETURN IN●出力端子＝HEADPHONE,FOOT SW,SEND OUT,SPEAKER OUT×2、DIRECT OUT,XLR BAL OUT●コントロール＝ch-A VOLUME,TREBLE,MIDDLE,BASS,ch-B GAIN,MASTER VOLUME,TREBLE,MIDDLE,BASS,A&B P-EQ (LEVEL,Q,FREQUENCY),PRESENCE,REVERB,SEND LEVEL,RETURN LEVEL,XLR BAL-OUT LEVEL,A/B SELECT SW,POWER SW●寸法・重量＝54.1W×24.8H×30.7Dcm・16kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・90W



B100III BASS AMPLIFIER HEAD ¥80,000

B100-115IIIと同規格の高度な機能をスタッカブルタイプとして結晶させた100Wrmsライブ仕様モデル。3バンドトーンにアクティブ型回路採用により、リニアな周波数特性を実現。2回路装備のパラメトリックEQはフットSWで回路セレクト可能。さらに2ウェイ・マルチアンプシステムに対応するチャンネルディバイダー内蔵。EFFループ用端子、XLRバランスアウトなど入出力系もプロユース。
●出力＝100Wrms●入力端子＝INPUT×1、POWER IN●出力端子＝HEADPHONE,FOOT SW,SPEAKER OUT×2、XLR BAL OUT,PRE AMP OUT,HPF OUT,LPF OUT●コントロール＝VOLUME,TREBLE,MIDDLE,BASS,P-EQ 1&2(LEVEL,Q,FREQUENCY,PRESET LEVEL),CROSS-OVER (LPF LEVEL,FREQUENCY,HPE LEVEL),XLR BAL OUT LEVEL,POWER SW●寸法・重量＝56.6W×19.8H×30.7Dcm・14.8kg●定格電源電圧・周波数・消費電力＝100V・50/60Hz・90W

ACCESSORIES

●PC-OCC・ハイパワーケーブル

GCXは、プロフェッショナルニーズに応えるため、ケーブル内の芯線に純度99.997%のPC-OCC(単結晶状高純度無酸素銅)を採用したスーパーハイクオリティコード。断面を比較した場合、歪みや伝達ロスの原因となる結晶境界がわずか1本あるにすぎないPC-OCCは、無数本存在する普通銅と根本的に構造を異にし、究極の周波数特性、ローノイズ特性を獲得。アンプから流れ出るクリアーなサウンドがすべてを物語ります。プラグは、折れや曲がりの心配のない精密削り出しタイプ。ケーブルとはスポット溶接し、ガリノイズなどの接触不良も排除したノーメンテナンス構造。さらに、スイッチプラグの採用により接触時のショックノイズを追放。あらゆるトラブルに対し万全の配慮を施しています。





GCXプラグ部（ギター側）

GCXプラグ部（アンプ側）

PC-OCC・High Power Cable (SWITCH)			
GCX-3	3m	BLACK	¥3,000
GCX-5	5m	DARK BLUE	¥3,500
GCX-7	7m	DARK RED	¥4,000



(Black, DarkBlue, DarkRed)

GCX-100 ¥700/1m

ハイクオリティPC-OCCケーブルを必要な長さだけ購入可能。カラーはブラック。1m単位で700円。信号の劣化が重要な問題となってくる10m以上の長いコードにおいても、PC-OCCならではのハイパフォーマンスをフルに発揮します。



●プロフェッショナル&レギュラーケーブル

プロフェッショナルシリーズGSCは、7色のバリエーション、クラスを超えた高性能で好評のスイッチプラグ仕様。レギュラーシリーズのGRCはカラーコーディネイトに気を配るプレイヤーに圧倒的人気を誇ります。

PROFESSIONAL Cable (SWITCH)		
GSC-300	3m	¥1,700
GSC-500	5m	¥2,000
GSC-700	7m	¥2,400

REGULAR Cable		
GRC-015	0.15m	¥600
GRC-030	0.30m	¥650
GRC-050	0.50m	¥700
GRC-100	1m	¥900
GRC-300	3m	¥1,200
GRC-500	5m	¥1,500



●PC-OCC・エフェクターケーブル

GCX-01は、エフェクターを多用する場合においても、究極の周波数特性を発揮するPC-OCC採用のエフェクター接続用ケーブル。伝送ロスを極限まで排除し、ギターサウンド本来のピュアリティを確保します。プラグは精密削り出しタイプ。

GCX-01 ¥1,400・30cm

●エフェクター・プラグ

エフェクタープラグ、EP-1C(クランクタイプ)EP-1S(ストレートタイプ)はプラグ部に金メッキを施し、腐食を強力に防止。接続不良や接触不良の起こりにくいクオリティ重視のハイグレードプラグ。エフェクターの性能をフルに生かしながら、確実に接続。専用プラグならではの優れた効果を発揮します。

EP-1C ¥700 CRANK
EP-1S ¥600 STRAIGHT



●ツアーケース

RKシリーズは、ラックマウント方式のエフェクターや機材をスマートに収納するツアーケース。FRP(強化プラスチック)とウッド材とをラミネイトし、エッジ部をアルミニウムバインディングした、軽く、しかし頑丈なヘヴィデューティ構造。湿気によるソリの心配がないうえ、キャリングハンドル、止め具はくぼみにセットされているため、頻繁な移動にも収納物の保護性、耐久性は群を抜いています。

TOUR CASE		
RK-2(2U)	BLACK	¥25,000
RK-4(4U)		¥42,000
RK-6(6U)		¥48,000
RK-8(8U)		¥67,000
RK-12(12U)		¥80,000

写真のRK-2は、PG-1装着例です。



デッドポイントのない安定した性能とクオリティサウンドが魅力。自由なステージアクションが楽しめるダイバシティワイヤレスシステム—WXY

DIVERSITY WIRELESS SYSTEM

WXYシリーズは、放送局で用いられているダイバシティ方式を採用。2つの受信部で並行的な受信を行い、レベルの良好な方を高性能IC採用のロジック回路によってリアルタイムに選び出すシステムです。従来まで問題とされていたデッドポイントを解消し、常に安定した受信状態が得られます。またプロ仕様のNRシステムを搭載し、クリアーな音質を実現。動力性やダイナミックレンジも格段に向上しました。さらに、ノイズの干渉をほとんど受けない230MHz帯域を使用。WXY-05は周波数F3,F4,F5,F6の4タイプがあり、同一ステージで4台の楽器をワイヤレス化することが可能。周波数F1,F2を使ったWXY-10を併用すれば、一度に6台の楽器のワイヤレス演奏さえ実現します。接続楽器を選ばないシャープなアタックレスポンスと低歪率。ナチュラルかつハイクオリティなサウンド。WXYは驚くべき高性能で、ステージアクトの自由化を宣言します。

■使用周波数＝WXY-05 F3,F4,F5,F6のいずれか、WXY-10 F1/F2、WXY-11 F3/F4 @スイッチにて切り換え(F1＝239.6、F2＝240.6、F3＝241.4、F4＝242.0、F5＝242.85、F6＝243.55MHz)■TRANSMITTER WXY-05T,WXY-10T,WXY-11T 電波形式＝F3(FM)電界強度＝電波法施行規則第6条1項に適合 発信方式＝水晶制御方式 電源＝9V乾電池(S-006P) 寸法・重量＝7.0W×11.4H×22.5Dcm・180g ■RECEIVER WXY-05R WXY-10R,WXY-11R 受信式＝スペース・ダイバシティ方式 受信部方式＝スーパーヘテロダイン方式 局部発信方式＝水晶制御方式 電源＝100V・50/60Hz 寸法・重量＝42.0W×4.4H×17.5Dcm・2.8kg

WXY-05 ¥69,800



WXY-10 ¥115,000



WXY-11 ¥115,000



※トランスミッターは単品でも販売しております。
WXY-05T ¥20,000 WXY-10T ¥35,000 WXY-11T ¥35,000

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社
ギター・ドラム国内営業部
〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534-60-2431(ダイヤルイン)

1988年12月作成
カタログコードLAA812